

■視聴覚機材・教材の貸し出し(生涯学習センター)

E. 平和教材

1/5ページ

番号	題名・対象	上映時間 色別	内容
E 1	にんげんをかえせ (中～一般)	20分 カラー	焼けただれた少年の訴えるような画面がいきなり映し出される。「皆さん、どうか、終りまで、目をそらさないでください。」という言葉・・・。
E 2	予言 (中～一般)	41分 カラー	原爆病院の待合室のTVが核狂乱時代の報道を流している。これを見ている谷口さんは長崎で16歳の時原爆によって被爆した。35年間、腫瘍手術のために入院と退院をくり返している。その体には傷ついた生々しい跡が残されている。
E 3	赤いお月さま (小～一般)	45分 カラー	終戦前後の混乱期に疎開先で出会った友は自分で育てた花に「赤いお月さま」と名づけ、それに平和の願いをこめて去っていった。それから30年。二人の子の母となった主人公は、その友に同情しながらも周囲のひがみに左右されて裏切っていた事を知る。その二人の苦い友情を追いながら、戦争の残酷さと平和の尊さ、友情のあり方を訴える。(劇)
E 4	おこりじぞう (幼～一般)	27分 カラー	いつも笑顔の「わらいじぞう」と仲良しの女の子ひろちゃんは、8月6日、6歳の誕生日を楽しみに迎えた。がー。じぞうは怒り続ける、戦争のなくなる日まで。人形アニメで平和と生命の尊さを幼い子供達にも強く訴える。
E 5	あおよ、かえってこい —東京大空襲— (小～一般)	20分 カラー	昭和20年の東京・下町のお話。東の間の平安を星座・空飛ぶペガサスに思いをはせる少年と、運送店の子馬アオとの友情。10万人を越す非戦闘員が焼き殺されていった東京大空襲。その夜、アオはペガサスになって火災の海を空高く飛翔する。人形アニメ

番号	題名・対象	上映時間 色別	内容
E 6	おかあちゃんごめんね (幼～一般)	26分 カラー	「逃げるんや！絹ちゃん！どこまでも逃げるんや……」病身のおかあちゃんが炎の中に消えた夜。昭和20年、大阪・堺の大空襲の体験を記録した平和人形アニメーション。原作：早乙女勝元
E 7	ヒロシマ・ナガサキ (一般)	46分 カラー	この映画は、あくまでも科学的な視点から被爆の実態を総合的に描こうと製作された記録映画であり、広島・長崎両市が初めて共同企画した被爆者と医師たちの証言による次代への警告の映画である。
E 8	おかあさんの木 (小～一般)	22分 カラー	日中戦争が始まり、7人の男の子を戦場に送り出すたびに、母親は一本ずつ桐の木を植えては、朝晩、語りかける。次々と戦死の知らせが入り、泣きくずれる母。アニメーション
E 9	天に焼かれる (小～一般)	17分 カラー	広島で原爆に7人の身内を奪われた金崎是さんが、歴史の証言者として、さまよい歩きながら描いたスケッチ、おぞましいキノコ雲、黒い雨、そして地獄のような光景、血まみれの少年、倒壊した家の前で泣き叫ぶ女性、全身に火傷を負った母と子……。今鮮烈によみがえります。ドキュメンタリーアニメーション
E 10	君知ってる？ 首都炎上 (小～一般)	18分 カラー	カラフルな光にあふれる街、銀座、にぎわう歩行者天国。この街がかつて戦火に焼きつくされたことを、あなたは知っているだろうか。1945年3月10日の東京大空襲は、一夜にして10万人以上の生命を奪ったのだ。かろうじて生き残った三人の体験者がその参上を語る。ドキュメンタリーアニメーション

番 号	題 名 ・ 対 象	上映時間 色 別	内 容
E 1 1	イクサバ フラビ 戦場ぬ童 (一般)	26分 カラー	ガマ(洞窟壕)に今なお残る累々たる白骨。その上にそびえる巨大な米軍通信基地。この沖縄風景には40年にわたる深い傷痕が刻まれている。1フィート運動フィルムと母親となった当時の児童の証言で綴る記録映画。
E 1 2	さようならカズくん (幼～一般)	25分 カラー	昭和20年3月10日の東京大空襲で家を焼かれた大三郎と幸子は、おじさんの働いていた上野動物園に避難し、カバの大太郎と京子と仲良しになります。しかし、二頭のカバにも、2年前戦争の犠牲となって殺された他の動物たちと同じ運命が待っていたのです。
E 1 3	お母さんの声がきこえる —平和な明日へ— (一般)	31分 カラー	東京大空襲で生き残った人たちの生の声。八王子へ疎開して空襲の犠牲になった明治君のために、お母さんがランドセルを背負わせたお地蔵さんがある相即寺へ、今お兄さんが子供をつれてたずねる。戦争の悲惨さを今日に伝える作品です。
E 1 4	核戦争 (中～一般)	15分 カラー	核ってなに？核戦争になったらどうなるの？と子どもたちに聞かれた時、答えられるように、核問題の本質をアニメーションによって科学的・論理的にわかりやすく説明しています。
E 1 5	100ばんめのサル (小～一般)	20分 カラー	地球には生き物全てを一瞬に焼き尽くすほどの核爆弾がありますが、それをなくして、戦争や核の恐怖のない平和な暮しができないのでしょうか。この物語はサルがイモを洗うことを覚えるということを通して、私たち人間も世界に平和を願う心を広げていけないのではないかと、アニメーションと実写によって訴えています。

番 号	題 名 ・ 対 象	上映時間 色 別	内 容
E 16	夏服の少女たち —ヒロシマ— 昭和20年8月6日— (小～一般)	30分 カラー	学徒動員で全員が被爆死した旧広島県立第一高女一年生の一人森脇揺子の日記をもとに、少女たちの入学から8月6日までのつかの間の青春をアニメーションで描く。ボロボロになった夏服を、形見として守り続ける両親の悲しみを実写として織り混ぜる。
E 17	せんすい艦に恋をした クジラのお話 (幼～一般)	15分 カラー	遠い南の国の海に、ひと一倍体が大きなイワシクジラのデカオが住んでいました。ひとりぼっちのデカオは、恋人が欲しくてたまりません。ある日デカオは、せんすい艦をクジラと勘違いをし、恋をしてしまいました。ところが、せんすい艦は戦争をしていたのです。 原作：野坂昭如 アニメーション
E 18	ひろしまのエノキ (幼～小)	20分 カラー	爆心から一キロの所で、原爆の熱風と爆風で幹をえぐられるなど、大きな傷を受けながらも青々と葉をしげらせていたエノキが、昭和59年8月、おりからの台風で根元から三メートルをのこして折れてしまいました。これを見た地元の小学生が、懸命な努力の結果エノキを生きかえらせます。アニメーション
E 19	原爆ドーム物語 (小～一般)	15分 カラー	原爆ドームの誕生から現在に至るまでの物語形式により、原爆被害の惨状を織りこみながら、ドームが見つめてきた戦争と平和を描いています。私たち日本人だけでなく、世界中の人びとにとっても、原爆ドームはどんな意味を持っているのか、未来への責任を担う人類のひとりとして、ヒロシマをどう伝えていくのか、平和を考えるための作品。アニメーション

番 号	題 名 ・ 対 象	上映時間 色 別	内 容
E 20	象のいない動物園 (小～一般)	81分 カラー	日本がアメリカと戦争をしていた昭和18年動物園の動物たちは危険だということで次々に殺されました。この物語はそのときの話と戦争が終わり、この事件を知った子どもたちがゾウを見たいと呼びかけ、それが実現するまでの話です。「かわいそうな象のはなし」より。アニメーション
E 21	一つの花 (小～一般)	23分 カラー	小4の国語の教科書にのっている今西祐行原作のアニメ化。昭和19年夏、日本は太平洋戦争で食べ物も不足していた。お腹をすかしてオニギリをねだる幼い我が子に、父はコスモスの花を一つ手渡して出征していく…。平和の尊さを訴えます。
E 22	太平洋戦争と東南アジア (中～一般)	29分 カラー	マレーシア・シンガポールでの長期取材をもとに、これまで見過ごされがちであった東南アジア諸国に対する侵略と収奪の事実から、太平洋戦争の真の姿を伝える戦争・平和教材です。
E 23	つるにのって 「とも子の冒険」 (幼・小)	30分 カラー	夏休みのある日、広島原爆資料館を訪れた小学6年生の少女とも子が体験する不思議な不思議な冒険。原爆の破壊力と恐ろしさ、平和の大切さを訴えたピースアニメです。
E 24	十六地蔵物語 (小～一般)	26分 カラー	終戦の一年前の1944年9月、大阪市の南恩加島国民学校の3、4年生が徳島県貞光町に集団疎開をしました。町の人達は温かく迎えてくれましたが、子ども達にとって過酷な生活でした。